

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

ワイカム
YCAMバイオ・リサーチ・オープンデー
 —キッチンからはじめるバイオ

2016年6月25日(土)、7月9日(土)、10月8日(土)、11月12日(土)、12月10日(土)

2017年2月11日(土) 13:00—17:00 参加費無料

山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティスペース

2016年はYCAMバイオ元年—とても身近なバイオテクノロジー

山口情報芸術センター [YCAM] では、近年飛躍的に発達するバイオテクノロジーの応用可能性をアートや教育、地域といった多様な切り口で研究開発することを目的とした新たなプロジェクト「YCAMバイオ・リサーチ」を実施しています。バイオテクノロジーは、古くから発酵などのかたちで私たちの生活と結びついていますが、近年ではテクノロジーの発達に伴い、農業や医療やエネルギー産業などの分野で、ますます応用が進んでいます。同時に、遺伝子の分析や活用などの高度なバイオテクノロジーを利用するためのコストが急激に低下し、専門的な設備に個人レベルで触れられるような施設が世界中に数多く立ち上がりつつあります。

YCAMでは、こうした背景のもと、2015年からプロジェクトを立ち上げ、バイオテクノロジーを扱うためのスペースを開設しました。

2016年は、国内外の研究機関やファブラボなどと連携しながら、応用の可能性を探ります。ここでの成果はオンラインで公開するほか、その活動のプロセスを紹介するイベント「オープンデー」を年間6回開催する予定です。この機会に是非ご参加ください。



イラスト：Rie Mochizuki

写真(上)：YCAMで実施したワークショップの様子(2015/YCAM)
 写真(下)：YCAMバイオ・リサーチ・オープンデーの様子(イメージ図)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

開催概要

ワイカム
YCAMバイオ・リサーチ・オープンデイ
 —キッチンからはじめるバイオ

2016年6月25日(土)、7月9日(土)、10月8日(土)、11月12日(土)、
 12月10日(土)、2017年2月11日(土)

13:00—17:00

山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティスペース

対象：小学生～一般

参加費：無料

※申込み不要

オープンデイ概要

YCAMバイオ・リサーチでは年間を通じて活動を紹介する場「オープンデイ」を開催します。リサーチ過程を館内で展示するとともに、バイオリボの基本的な機材を紹介するバイオリボツアーや、バイオテクノロジーに気軽に触れることのできるミニワークショップなどを設けます。子どもから大人までどなたでも参加ができます。

実施スケジュール

- vol.1：6月25日(土) 「パンと酵母」
- vol.2：7月9日(土) 「発酵とDIY」
- vol.3：10月8日(土) 「森のDNA」
- vol.4：11月12日(土) 「ヒトと共生微生物」
- vol.5：12月10日(土) 「生物とプログラミング」
- vol.6：2月11日(土) 「細胞と遺伝子」

※vol.4～6に関しては、内容を変更する場合があります。詳細は随時ウェブサイトにて更新します。ご確認ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化国際発信推進事業

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

同時開催イベント

ヤマキッチン
YAMA KITCHENワークショップシリーズ ※要申込

- 第1回：6月24日(金) 「酵母」
- 第2回：7月22日(金) 「麴」
- 第3回：12月23日(金) 「発酵」 ※日程と内容を変更する場合があります。

19:00—22:00

山口情報芸術センター [YCAM] レストランスペース

YCAMバイオ・リサーチと連動させながら、日本の食文化に深く結びつく「発酵」、発酵の根源である「酵母」や「麴」に焦点を当てた体験的なワークショップを実施します。

YCAMバイオ・リサーチ



2015年度よりスタート。クリーンベンチ、オートクレーブ、インキュベータ、PCR装置、遠心分離器、冷蔵庫、冷凍庫、ピペット、顕微鏡などの基本的な設備を備えたバイオリボ・スペースをYCAM館内1階で運用している。2015年には、バイオテクノロジーを駆使したアート作品を制作しているアーティストグループ「BCL」によるワークショップを開催したほか、ハーバード大学のGeorge Church教授がディレクターをつとめる、ファブラボを対象とした合成生物学に関するオンライン講座「How To Grow Almost Anything (Bio Academy)」にも参加。2016年3月には「瀬戸内国際芸術祭2016」に参加し、小豆島坂手地区で、酵母を扱った滞在制作と展示をおこなった。5月には、韓国のCultural Station Seoul 284にてワークショップを予定している。